要点のまとめ

22 文節の働き（修飾語・接続語・独立語）・文節と文節の関係・文の成分

文節の働き（修飾語・接続語・独立語）

❶修飾語…「どのように」「どのくらい」「どんな」「何を」などを表し、後にくる他の文節の内容を詳しく説明する文節。用言を含む文節を修飾するものを**連用修飾語**、体言を含む文節を修飾するものを**連体修飾語**という。修飾される文節を**被修飾語**という。 体言・用言 106ページ

例 ▪先生が ゆっくり（どのように・連用修飾語） 話す。（被修飾語・用言）
▪妹は おにぎりを（何を・連用修飾語） 二つ（どのくらい・連用修飾語） 食べた。（被修飾語・用言）
▪古い（どんな・連体修飾語） アルバムを 開く。（被修飾語・体言）
▪大事なのは 本人の（何の・連体修飾語） 気持ちだ。（被修飾語・体言）

❷接続語…理由や条件を示したり、文と文、文節と文節をつないだりして、その関係を示す文節。

例 走ったので、電車に 間に合った。（理由を示して、後の文節に係っている。）
走った。それで、電車に 間に合った。（前後の文をつなぎ、関係を示している。）

❸独立語…他の文節とは直接関係せず、比較的独立している文節。感動・呼びかけ・応答・挨拶・事柄の提示などを表す。

例 ▪（感動）まあ、きれいな 夕日。
▪（呼びかけ）もしもし、橋本さんですか。

文節と文節の関係

❶主語・述語の関係

A 何（誰）が（主語）——どうする（述語）
B 何（誰）が——どんなだ
C 何（誰）が——何だ
D 何（誰）が——ある（いる・ない）

例 鳥が さえずる。（D）
例 波が おだやかだ。（B）
例 ここが 私の ふるさとだ。（C）
例 ここに 桃が ある。（D）

❷修飾・被修飾の関係

例 ▪突然（連用修飾語） 電話が（被修飾語） 鳴った。
▪今日は 弟の（連体修飾語） 誕生日（被修飾語）だ。

❸並立の関係…文節と文節が対等に並ぶ関係。

例 ▪肉と（並立） 魚を 料理する。
▪彼は かしこくて（並立） 優しい。

❹補助の関係…下の文節が上の文節の意味を補う関係。

例 ▪空気が 澄んで（意味を補う） いる。
▪広く（意味を補う） ない 部屋に ピアノが ある。

※接続語と接続語を受ける文節の関係を「**接続の関係**」、独立語とその他の文節の関係を「**独立の関係**」という。

文の成分

▪文を組み立てている、**主語・述語・修飾語・接続語・独立語**や、これらと同等の働きをする部分のこと。

※**連文節**…二つ以上の文節が集まって一つの働きをする部分。それぞれ**主部・述部・修飾部・接続部・独立部**という。並立の関係や補助の関係にある文節は、必ず連文節を作る。

例 夕方に（接続部） なると、涼しい 風が（主部） 吹いて（修飾・被修飾の関係） きた。（述部）
（修飾・被修飾の関係／補助の関係）

確認問題

1 修飾語 次の各文の——線から修飾語（A）と被修飾語（B）を一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 白い（ア） 子猫が（イ） 眠って（ウ） いる。（エ）
② おや、（ア） 弟さんは（イ） たくさん（ウ） 釣ったね。（エ）

① A	① B

② A	② B

ポイント まず「どのように・どのくらい・どんな・何を」などを表す修飾語を見つける。

2　文節の働き　次の――線の文節の働きを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

①　暗ければ、電灯をつけなさい。
②　いいえ、岡本さんは来ていません。
③　私の父は、切手を集めている。
④　明日は久しぶりの休日だ。

ア　主語　　イ　述語　　ウ　修飾語
エ　接続語　　オ　独立語

①［　　］　②［　　］　③［　　］　④［　　］

ポイント　主語…「何（誰）が」
述語…「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる」「いない」
修飾語…「どのように」「どのくらい」「どんな」「何を」など
接続語…理由や条件を示したり、文と文、文節と文節をつないだりする。
独立語…他の文節と直接関係しない。感動・呼びかけ・応答・挨拶・事柄の提示など。

3　文節と文節の関係　次の――線の二つの文節の関係として適切なものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

①　部長が競技会に特別に参加した。
②　白でも　青でも好きな方を選んでください。
③　昨日なら妹も一日中家にいました。
④　今日はそれほど暑く　なかった。

ア　主語・述語の関係
イ　修飾・被修飾の関係
ウ　並立の関係
エ　補助の関係

①［　　］　②［　　］　③［　　］　④［　　］

ポイント　①は「競技会に」も「特別に」も「参加した」を修飾している。②は「白」と「青」を入れ替えても文意が変わらない。④の「なかった」は「暑く」を打ち消している。

4　文節と文節の関係　次の文の――線の二つの文節の関係として最も適切なものを後から一つ選び、記号で答えなさい。　〈鳥取〉

▪日ごろからお世話になっている地域の方々にも運動会においでいただきたいと考えています。

ア　主語・述語の関係　　イ　修飾・被修飾の関係
ウ　並立の関係　　エ　補助の関係

［　　］

ポイント　「なっている」は「なって／いる」と文節に分けることができる。「いる」は、上の文節にその状態が〝続いている〟という意味を添えている。

5　文の成分　次の――線の文の成分を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

①　今年は暑いので、扇風機がよく売れているそうだ。
②　パソコンの操作音が規則正しく絶え間なく聞こえてくる。
③　パリ、そこは芸術の都と言われる街だ。
④　彼女は穏やかにほほえんでいる。
⑤　新入生の皆さん、集まってください。
⑥　抗議したが、聞き入れてもらえなかった。
⑦　日暮れ頃から激しい雨が降り出した。
⑧　私の誕生日に、友人がパーティを開いてくれた。

ア　主語　　イ　述語　　ウ　修飾語　　エ　接続語　　オ　独立語
カ　主部　　キ　述部　　ク　修飾部　　ケ　接続部　　コ　独立部

①［　　］　②［　　］　③［　　］　④［　　］
⑤［　　］　⑥［　　］　⑦［　　］　⑧［　　］

ポイント　まず、――線の部分が一文節か連文節かを確かめる。文の成分は、一文節なら「○語」、連文節なら「○部」という。次に、それぞれの――線の部分が文の中でどのような働きをしているかを考える。なお、文節の働きを示すときに「○語」、文の成分を示すときに「○部」とする考え方もある。